



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 堀田丸正株式会社

上場取引所 東

コード番号 8105 URL <http://www.pearly-marusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 雅美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 矢部 和秀

TEL 03-3548-8139

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,506	9.5	15		14		71	
2019年3月期第1四半期	1,664	1.9	27		15		22	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 70百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 28百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	1.26	
2019年3月期第1四半期	0.41	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	5,670	4,311	76.0	76.65
2019年3月期	5,722	4,241	74.1	75.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 4,311百万円 2019年3月期 4,241百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の配当予想は未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,445	3.3	40		33		65		1.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	59,640,348 株	2019年3月期	59,640,348 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,395,875 株	2019年3月期	3,395,825 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	56,244,497 株	2019年3月期1Q	56,244,530 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、政府の各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されております。しかしながら、通商問題の動向が世界経済に与える影響に一層注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意が必要な状況にあります。

このような事業環境のもと、当社グループは、コア事業である意匠燃糸事業へ継続的に経営資源を集中すると同時に、前期までに和装・寝装事業では、事業所の統廃合、洋装事業では、販売員契約の見直しなど様々なコスト削減を実施したことに加えて、収益性低下による棚卸資産の評価損や不採算のブランド事業を廃止することによる特別損失を計上するなど抜本的な構造改革により、当期以降の成長戦略推進のための基盤づくりを行いました。これらの結果、売上高15億6百万円（前年同四半期比9.5%減）、営業利益は15百万円（前年同四半期は営業損失27百万円）、経常利益は14百万円（前年同四半期は経常損失15百万円）、また、当社が出資を行っていた協同組合が6月に清算結了決議を行い、残余財産の分配を受け、特別利益を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は71百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失22百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

和装事業は、リサイクル企画催事の取り組みにより新たな販売機会を創出し、また、専門店取引も堅調に推移いたしました。百貨店取引は売上減少傾向に加え、連結子会社（株）吉利においても大手量販店との取引見直しにより売上減少となりました。この結果、売上高3億14百万円（前年同四半期比16.5%減）、営業利益は3百万円（前年同四半期比48.6%減）となりました。

寝装事業は、マットレス事業における通販取引先への商品供給は順調に推移いたしました。量販・専門店取引が売上減少傾向となりました。また、前期まで牽引してまいりました東北地区におけるギフト事業も受注減により売上減少いたしました。そのような中、前期までに実施した組織体制の見直しや事業所の縮小などの構造改革が利益創出につながりました。この結果、売上高1億28百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業利益は6百万円（前年同四半期比15.9%増）となりました。

洋装事業は、アパレル事業におきまして、西日本の百貨店における人材投入型の催事業が拡大、九州が拠点の丸福事業は、ベビー・子供服が専門店取引を中心に売上が伸長し、増収増益となりました。馬里邑事業は、主力の百貨店取引が売上減少傾向でしたが、専門店取引の売上が伸長したことに加えて、前期における抜本的な構造改革の結果、粗利率が改善し、固定費も削減されたことで大幅な利益面での改善ははかれました。この結果、売上高6億21百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益は36百万円（前年同四半期は営業損失27百万円）となりました。

意匠燃糸事業は、海外事業の日本市場向けは受注増により売上伸長したものの、中国内販向け及び欧州向けが受注減となり、国内事業は堅調に推移したものの売上減少となりました。また、OEM事業は国内アパレルからの大幅受注減により、売上減少となりました。この結果、売上高4億41百万円（前年同四半期比15.2%減）、営業利益は21百万円（前年同四半期比32.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は54億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が73百万円増加し、受取手形及び売掛金が1億58百万円減少したことによるものであります。固定資産は2億66百万円となり、前連結会計年度末に比12百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産「その他」が10百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は56億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は13億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億20百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が34百万円、電子記録債務が30百万円減少したことによるものであります。固定負債は48百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。これは主にその他が2百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は13億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億22百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は43億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益71百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は76.0%（前連結会計年度末は74.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当社が出資を行っていた協同組合が清算終了を決議したことに伴い、残余財産の分配が行われ、特別利益を計上したことにより、2019年5月15日付「2019年3月期決算短信」にて公表しておりました2020年3月期の連結業績予想を変更しております。

詳細につきましては、本日(2019年8月8日)公表いたしました「2020年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,409,118	2,482,146
受取手形及び売掛金	1,375,554	1,216,909
電子記録債権	220,731	288,146
商品及び製品	1,347,595	1,328,418
仕掛品	9,954	9,943
原材料及び貯蔵品	35,895	48,804
その他	56,467	41,698
貸倒引当金	△12,369	△12,260
流動資産合計	5,442,947	5,403,807
固定資産		
有形固定資産	114,238	112,018
無形固定資産	19,015	19,143
投資その他の資産		
その他	188,103	178,098
貸倒引当金	△42,152	△43,029
投資その他の資産合計	145,951	135,068
固定資産合計	279,205	266,230
資産合計	5,722,152	5,670,037
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	804,608	770,520
電子記録債務	313,392	282,677
未払法人税等	42,062	25,439
賞与引当金	28,200	32,350
返品調整引当金	38,193	35,375
その他	204,156	164,132
流動負債合計	1,430,613	1,310,496
固定負債		
資産除去債務	11,500	11,500
その他	39,013	36,881
固定負債合計	50,513	48,381
負債合計	1,481,127	1,358,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,937,570	2,937,570
資本剰余金	1,236,152	1,236,152
利益剰余金	432,293	503,391
自己株式	△389,571	△389,576
株主資本合計	4,216,444	4,287,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,294	13,461
為替換算調整勘定	6,286	10,161
その他の包括利益累計額合計	24,580	23,622
純資産合計	4,241,025	4,311,160
負債純資産合計	5,722,152	5,670,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,664,023	1,506,529
売上原価	1,173,382	1,019,314
売上総利益	490,641	487,215
販売費及び一般管理費	517,770	471,941
営業利益又は営業損失(△)	△27,129	15,273
営業外収益		
受取利息	1,024	69
受取配当金	683	749
為替差益	7,205	—
受取賃貸料	2,800	—
敷金保証金返金差額	—	1,104
その他	2,385	195
営業外収益合計	14,099	2,118
営業外費用		
支払利息	356	378
手形売却損	434	—
為替差損	—	2,282
賃貸費用	692	—
その他	528	235
営業外費用合計	2,012	2,897
経常利益又は経常損失(△)	△15,041	14,494
特別利益		
協同組合清算益	—	73,387
特別利益合計	—	73,387
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△15,041	87,881
法人税、住民税及び事業税	7,846	16,784
法人税等合計	7,846	16,784
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,888	71,097
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,888	71,097

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,888	71,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,503	△4,832
為替換算調整勘定	△2,881	3,874
その他の包括利益合計	△5,385	△957
四半期包括利益	△28,273	70,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△28,273	70,139

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠燃糸事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	376,637	134,395	632,107	520,882	1,664,023	-	1,664,023
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	376,637	134,395	632,107	520,882	1,664,023	-	1,664,023
セグメント利益 (又はセグメント損 失(△))	6,062	5,197	△27,728	32,287	15,819	△42,948	△27,129

(注) 1. セグメント利益の調整額△42,948千円には、セグメント間取引消去12,334千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△55,282千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失(△))は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠燃糸事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	314,417	128,894	621,285	441,932	1,506,529	-	1,506,529
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	314,417	128,894	621,285	441,932	1,506,529	-	1,506,529
セグメント利益	3,115	6,023	36,154	21,952	67,244	△51,971	15,273

(注) 1. セグメント利益の調整額△51,971千円には、セグメント間取引消去7,347千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△59,318千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。